

第3回岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会 議事概要

1 日 時 令和3年2月15日(月)14時～15時20分

2 場 所 オンライン会議

3 出席者 委員12人、事務局4人

	所属	役職	氏名	役割	備考
1	岐阜県総合医療センター	腎臓内科部長	村田 一知朗	日本腎臓病協会 慢性腎臓病対策部会岐阜代表	会場
2	岐阜県医師会	常務理事	平野 良尚	岐阜県医師会	欠席
3	岐阜県医師会	常務理事	西野 好則	岐阜県医師会	会場
4	岐阜大学医学部附属病院	腎臓内科臨床講師	吉田 学郎	腎臓病専門医	web
5	岐阜市民病院	腎臓内科部長	高橋 浩毅	腎臓病専門医	web
6	大垣市民病院 岐阜県糖尿病対策推進協議会	幹事	傍島 裕司	腎臓病専門医 糖尿病専門医	web
7	岐阜大学医学部附属病院 岐阜県糖尿病対策推進協議会	副会長	矢部 大介	糖尿病専門医	web
8	岐阜県薬剤師会	常務理事	井深 宏和	岐阜県薬剤師会代表	web
9	中濃厚生病院	透析看護認定看護師	廣瀬 恭子	病院看護師代表	web
10	全国健康保険協会岐阜支部	保健師	作倉 かおり	医療保険者代表	web
11	下呂市	保健師	福井 郁子	市町村保健師代表	web
12	中津川市	管理栄養士	糸井 晃美	市町村管理栄養士代表	web
13	岐阜保健所	係長	二村 真紀	保健所代表	web

事務局

	所属	役職	氏名
14	岐阜県健康福祉部 保健医療課	課長	赤尾 典子
15	岐阜県健康福祉部 保健医療課健康推進室	課長補佐兼係長	牧村 潤一
16		技術主査	森 千夏
17		技術主査	小川 麻里子

■挨拶（岐阜県健康福祉部保健医療課長 赤尾典子）

■報告事項

令和2年度の事業実施状況（普及啓発事業、人材育成事業、医療連携について）

■協議事項

令和3年度の事業実施計画について

【令和3年度事業計画について】

（普及啓発事業）

- ・新型コロナウイルス感染症の状況によるが、ショッピングモールなどでの講演や市民公開講座が開催できるとよい。
- ・医師会ラジオで、専門医からCKDについてお話いただくこともよい。
- ・腎疾患予防には減塩が非常に大切であり、減塩の商品などを紹介するなど、メディアが取り上げてくれる方法を考えていけるとよい。
- ・メディアは費用がかかるので、YouTubeなどの短い時間で、見てもらえるような啓発を考えていけるとよい。その中で、下呂市の減塩の取組みをPRする動画があるとよい。

（人材育成事業）

- ・岐阜CDEネットワークでは定期的な研修会を実施しており、既にある研修を活用することも一つ。
- ・県と岐阜CDEネットワークが共催で研修会を開催し、修了書を交付することもできるとよい。
- ・地域の保健師や管理栄養士が、実際に何が知りたいのかを確認し、具体的な指導に結びついていくような研修会が必要。
- ・保健師・管理栄養士に対して、症例ベースで定期的、継続的に検討会を開催し、様々な症例を共有しながら、腎臓専門医のアドバイスいただけると、勉強が深まる。
- ・基本的なデータの読み取り、指導の仕方を、いろんな事例で経験できるとよい。

（医療連携）

- ・GFRが低下する方を早期に診察できるようなフローチャートの作成が必要。
- ・進行性腎障害で血圧のコントロールができない方への対応の検討が必要。
- ・少なすぎてもといった課題はあるので、ブラッシュアップしていく必要がある。
- ・地域の保健師等からかかりつけ医につなぐ連携様式の検討が必要。
- ・CKDシールは、CKDステージ1～3は緑のシール、ステージ4は黄色、ステージ5は赤など、どのステージかが医療者側も、患者側もわかる形がよい。また、緑シールの方には1年に1回、黄色なら半年に1回、赤なら最低3～4か月に1回と、シールにより専門医へ受診することの意識が高まるとよい。